

NS型ネオスパン  
(イソシアレート品)

## 下地・工法

S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング)  
金属胴縁工法

## 留付方法

ビス

## 張り方向

横・縦

## 胴縁組

606mm以下

## 1) 基本構成図

## 挿入筋構法

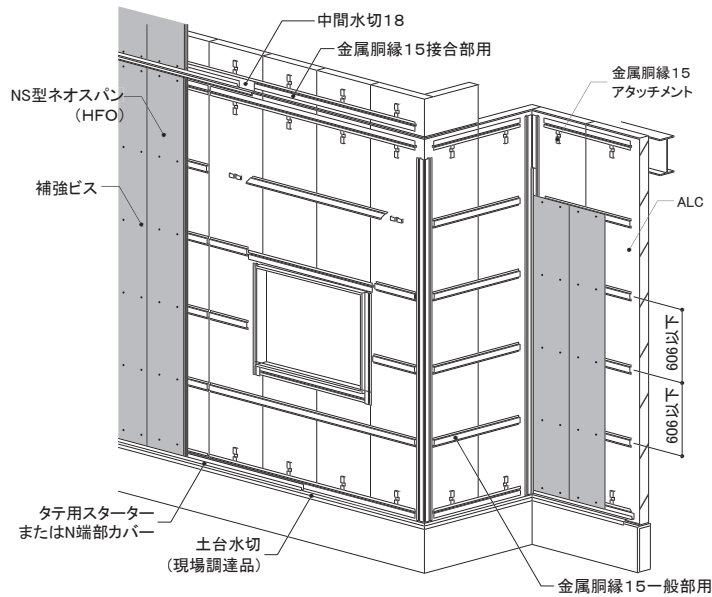
16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

●NS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスまで施工してください。

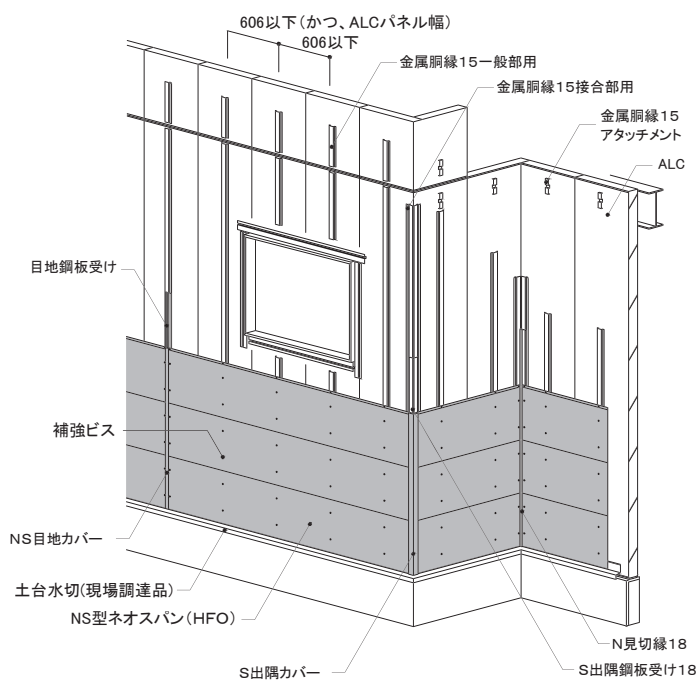
●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。

始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

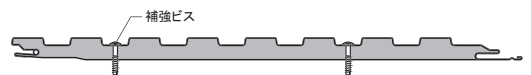


縦張り施工



横張り施工

補強ビスの基本留付位置



※補強ビスがアタッチメント固定アンカーや胴縁固定ビスにぶつかるおそれがある場合は、補強ビスの留め付け位置をずらして施工してください。  
 ※NS型ネオスパンを先に一面張り上げ、あとから補強ビスを打ち込む場合、下地が見えず、補強ビスがアタッチメント固定アンカーや胴縁固定ビスに干渉し打ち込めないおそれがあります。

